

美山の子どもたちが、美山でホームステイということ 美山小学校

ホームステイ 5年生

5年生が美山町内の地域のご家庭に滞在して、日常の体験をさせていただくホームステイの事業は今年で3年目を迎えました！

【ステップ① はじまりは3年前から】
コミュニティスクール推進会議の中で

近年、日本各地、遠くは海外からの教育旅行受け入れを行っている美山町。小学生から高校生まで多くの子どもたちが、地域の皆さんとの暮らし体験を通して、農家体験だけでなく様々なことを学んでいます。一方で、美山の子どもたちは？農山村に暮らしているながら、地域の皆さんと触れ合うこと、美山の暮らしを体験することができているのでしょうか？

そういった意見から、美山の子どもたちを対象にした農村民泊体験を実現することにしました！

【ステップ② めあてを共有】

受け入れ家庭の地域の方と事前打ち合わせを行い、以下のような取り組みの目的(めあて)を共有しました。



・子どもたちは

- ① 農村体験を通して自分が住む地域以外の美山に興味関心を持つ
- ② 家族以外の方との暮らしの中で、できること、役割を考え積極的に行動
- ③ 地域の方にお話をうかがい、さまざまな体験を通して、生活の中でコミュニケーションを図る

・地域の方は

- ① 美山小学校の子どもたちを、自分の地域の子どもたちという認識を持ってもらう
- ② 子どもたちに接する機会が少なくなる中で、子どもの声が地域に響くうれしさを感じてもらう
- ③ 子どもたちの学びに貢献しているという、やりがい、生きがいを感じてもらう

【ステップ④ ふりかえり家庭編】

子どもたちのために農作業を残しておいてくださった方、何を話そうか準備してくださった方、何より、美山の子どもたちと深く関わったことを、良かったと感じてくださった方が多くありました。ホームステイの後には、これまで以上に美山小学校の子どもたちに強い関心を寄せてくださっています。

次年度の
受け入れ家庭
募集中!!!

はじめは、「田舎に暮らしているのに、わざわざ美山でホームステイ？」と思われた方もありました。実際に子どもたちが体験して帰ってくると、子どもたちを通して、保護者の皆さんにも新たな発見があり、人とのつながりや、地域のあり方について改めて考える機会となったようです。



わくわく
ドキドキの
2日間！

9月26日
27日



5つの地域
12家庭にお
世話になり、
農作業や家
事などの体験をさせていただきました。

地域のお話を聞かせていただくなど、コミュニケーションをとりながら、様々な経験をさせていただき、子どもたちは、それぞれに「楽しかった！」と、話したいことが次から次へとあふれ出て止まりませんでした。家族とは違う、地域の方とのふれあいは、子どもたちの心に新しい気づきをもたらしてくれました。

【ステップ⑤ ふりかえり保護者編】

職場体験を通した、美山ならではのキャリア教育

美山中学校

職場体験 2年生

【まずはじめに・・・キャリア教育の目的とは？】

美山中学校では、総合的な学習の時間の活動を通して、生徒に起業家精神(チャレンジ精神、創造力、探求心)や起業家的資質・能力(判断力、リーダーシップ、コミュニケーション力)を育み、自ら課題をみつけ、その解決に向けて主体的に行動する意欲や態度をつちかうことを目的にキャリア教育を推進しています。

特に2年生の職場体験学習をキャリア教育の中心となる活動と位置付けています。

【ステップ① 職場体験にむけて事前学習】

事前学習として、講師の方に来ていただき「働く」ことについて学びました。「働くことってどんなこと？人はなぜ仕事をするの？」という本を生徒が分担して読み、それぞれが読んだところを要約して発表し、共有することで「働く」ことについて理解を深めました。



それから、生徒自身が「働く」ことに関してどんな考えをもっているのかを認識するために、「人は仕事をする」をテーマに「問いづくり」をし、グループで話し合いをしました。この新たな事前学習は、職場体験がより意義のある学習に繋がると考えています。



【ステップ③ 職場体験発表会と座談会

次年度へ向けて】

12月20日、今回の職場体験で学んだことを、生徒が紙芝居にして発表します。事前学習で考えた「働く」ことに対する「問い」を、職場体験を通してどのように感じたのか、どのように深まったかを話します。事業所の方にも来ていただき、生徒たちの様子をお話いただくなど、次年度の職場体験学習の充実に向けた座談会も予定しています。

【ステップ② 職場体験当日】



2年生28人は、11月13日から15日、美山町内14事業所で職場体験学習を行いました。職場の方には快く体験学習を受け入れていただきありがとうございました。「生徒さんはよく働いてくれて、職場体験が終わるのが寂しい。」と言われた方もありました。充実した体験学習だったと思います。



美山クラス開催しました！

【テーマ】

「子どもとともにある地域づくり」の視点から、自分たちが暮らす美山町を知る、地域の魅力を再発見することをコンセプトに、地域と学校、保護者が一緒になってプログラムを考えます。そして、親も子ども地域の方と一緒に、この活動を通して交流を深めることを目的とします。

3時間目

【過去6回の熟議での内容をもとに…】



【今年の取組は

「かまどでご飯を炊いて、八ヶ峰に登ろう！」】

【10月22日 当日】

炊き込みご飯の下ごしらえ、かまどの準備、それぞれの年齢に応じた作業を地域や保護者の方と一緒に、子どもたちが行いました。自分たちで炊いたご飯をお弁当につめて、いざ、八ヶ峰へ！



地元の大萱さんにガイドをお世話になり、小さい子から地域、保護者の方まで幅広い年齢層が連なって登りました。

参加者からは、「自分も体験したことのない八ヶ峰登山に、地元の子どもの体験させたかった」との声もありました。尾根からは若狭の海も見えて、大満足の1日となりました。



美山クラスは、地域学校協働活動…「目指す子ども像」の実現に向けて、地域・家庭・学校、みんなで一緒に取り組む活動のひとつです。

学校運営協議会の中で、美山クラスの取り組みは「地域学校協働活動」の取り組みとして位置づけることとなりました。

取り組み内容については、熟議で話し合われた内容をもとに、

- ・美山小学校 PTA
- ・美山中学校 PTA
- ・美山まちづくり委員会
- ・美山小学校・中学校 で、一緒に協議しました。

【ふりかえりから】

熟議をもとに、学校や授業内で取り組むことは難しいけれど、地域が中心となれば実現できる内容にしました。そのため、親子、地域ともに満足度の高い内容でした。

開催時期については課題もあり、早めに次年度に開催したい内容と、時期の調整をすることが必要です。



子育て美山中学校ひろば

【地域のコミュニティスペースとしての美山中学校】

南丹市では乳幼児や家族、妊婦を対象とした、子育てつどいの広場「ぼこぼこくらぶ」が定期的開催されています。美山町内では週1回開催されてきました。この11月からは新たに「美山中学校ひろば」が始まりました。校舎3階にある音楽室が、毎月第2月曜日には子育てつどいの広場に変身するのです。公立の学校施設を使用したコミュニティスペースは多くはありません。美山中学校の地域とのかかわりを生かし、実現することができました。初回となった11月11日は、休



み時間になると生徒たちが赤ちゃんとのふれあいを求め、ひろばを訪れました。その数、全校生徒の半数以上です。短い休み時間が終わると、別れを惜しんで教室に戻っていく生徒たち。音楽室ではママさんによるグラウンドピアノの演奏に合わせて、みんなで子どもたちの好きな歌を歌いました。その音色が校舎全体に響き渡り、生徒たちのもとへとどきます。今後もこの活動によって、地域の方が中学校へ足を運んでくださり、また生徒たちが地域の方との交流を深め、それが当たり前になることを期待しています。

赤ちゃんふれあい授業 3年生

【赤ちゃんをとおして命の大切さを知る】

美山中学校では「ぼこぼこくらぶ」が開催される前から、家庭科で「赤ちゃんふれあい授業」を実施しています。この授業では、赤ちゃんにふれあうだけでなく、お母さんたちに妊娠期や出産時のお話を聞いたり、子育ての体験談を聞いたりします。その中で、自分たちも大切に育てられてきたこと、命の尊さを学びます。

11月13日に美山町を含む南丹市在住の5組の親子



が来ていただきました。少子高齢化もあり、生徒たちの身近に赤ちゃんがいらないことが多い生活の中で、実際に赤ちゃんにふれて、お母さんたちのお話を聞くことで、出産・育児の大変さと命の尊さに触れることができました。

この家庭科の授業での取り組みと、コミュニティスペースとしての役割を果たす「ぼこぼこくらぶ」美山中学校ひろばの取り組みが、相互に作用して、生徒たちに良い風を運んでくれることでしょう。



12月10日に「地域みんなで美山の子どもたちの未来を考えるワークショップ」第7回熟議を開催しました。その様子は次号でお知らせします。ご参加いただいた地域の皆様、ありがとうございました。

ホームページで美山学の他、日々の子どもたちの様子も随時更新中です！ぜひご覧ください。

